

必須ポイントを流れで押さえて実践につなげる！

2026年2月1日発行（毎月1回1日発行）第35巻2号（通巻423号）ISSN 0919-1011

ICT・ASTのための医療関連感染対策の総合専門誌

INFECTION CONTROL

THE JAPANESE JOURNAL OF INFECTION CONTROL

2

Vol.35

2026

35周年

今月の最新情報

■Current Knowledge for ICT

看護師が常態的に所持していた医療用テープの携帯廃止に向けての取り組み～カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)検出を契機に実施した環境調査の結果から～

Practical
特集

「手指衛生の
タイミングは？」

「この場面に
PPEは必要？」



ラウンド時の指導や
マニュアル作成に使える！



手指衛生と PPE着脱の 「マストなタイミング」

Advanced&
Focus特集

院外との協力が必須！
感染対策に関わる
委託会社との連携

看護師“だからこそ”できることを見つけよう!

抗菌薬適正使用支援チーム ICNの活動記録



「AST内での自身の立ち位置に迷っている」「ICNとしてできることが何か分からず」
そんなあなたに今後の活動のヒントとなる先輩たちの活動を紹介します。

プランナー：渋谷智恵 公益社団法人日本看護協会 看護研修学校 認定看護師教育課程 課程長（感染管理特定認定看護師）

第14回 公立阿伎留医療センター

執筆者：長谷川陽子 公立阿伎留医療センター 感染管理室主任（感染管理認定看護師）

施設紹介

- 病床数：305床 ●平均在院日数：10.5日（2024年度）
- 特色：東京都あきる野市に位置する地域の中核病院であり、二次救急指定病院かつ災害拠点病院として急性期医療を担っている。一般急性期病床のほか、回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟、緩和ケア病棟を併設し、急性期のみならず在宅復帰・終末期まで切れ目のない医療を提供している。

ASTの概要

- メンバー：医師（ICD：呼吸器外科医）1名、抗菌化学療法認定薬剤師1名、臨床検査技師1名、ICN 2名図1



図1 ASTメンバー：左からICN、ICN（筆者）、ICD、薬剤師、臨床検査技師

●業務：

- ・週1回ASTカンファレンスを実施しており、抗菌薬使用量や処方パターン、薬剤耐性菌検出率などを定期的にモニタリングしている。
- ・各種培養陽性例や薬剤耐性菌検出例に対して適宜介入を行っている。

●看護師の役割：

- ・患者情報の収集や必要時の培養依頼、ベッドサイド観察を通じて現場とAST、主治医をつなぎ、抗菌薬の最適化を支援している。
- ・院内教育や地域医療機関・保健所との情報共有により、院内外の感染対策体制の強化に貢献している。